

障害福祉分野のICT導入モデル事業の概要

令和5年度補正予算額

4.3億円

1. 事業目的

- 障害福祉分野におけるICTの活用により障害福祉サービス事業所等における業務効率化及び職員の業務負担軽減を推進するため、障害福祉サービス事業所等がICTを導入する際の経費を支援し、ICTの活用モデルを構築することを目的とする。

2. 事業内容

- 障害福祉現場の業務効率化及び職員の業務負担軽減を推進するため、障害福祉サービス事業所等におけるICT導入に係る経費を補助する。
- モデル事業所においては、事業開始前にICT導入に係る研修会（都道府県等が委託等により実施）に参加し、ICT導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の取組を実践し、その効果等を測定・検証のうえ国に報告する。

【実施主体】 都道府県・指定都市・中核市

【実施対象】 障害福祉サービス等の指定を受けている施設・事業所

【補助単価】 1施設・事業所あたり：（最大）100万円

【補助割合】 事業所に対する導入支援 国1/2、都道府県・指定都市・中核市1/4、事業者1/4
事業所に対する研修 国1/2、都道府県・指定都市・中核市1/2

3. 補助対象

- ① 情報端末（タブレット端末・スマートフォン等ハードウェア、インカム）
- ② ソフトウェア（開発の際の開発基盤のみは対象外）
- ③ 通信環境機器等（Wi-Fi、ルーターなど）
- ④ 保守経費等（クラウドサービス、保守・サポート費、導入設定、導入研修、セキュリティ対策など）

※③、④については、①、②の導入に必要なものに限り対象。

4. 事業スキーム

